

平成28年1月14日

上田市長 母 袋 創 一 様

上田城南地域協議会
会長 荒 井 貞 雄



意 見 書

上田市地域自治センター条例に基づき、下記のとおり地域協議会の意見を提出します。

記

1 件 名	地域交通の利便性について
	<p>城南地区においては、別所線があるほか路線バス（県道川西線、青木線、室賀線）が運行されており、また、週2回オレンジバスが浦里・室賀コース（水・土）、西塩田コース（月・木）、東塩田コース（火・金）が運行され、一見、交通の利便性がかなっているかのように見受けられます。しかし、現状は「停留所が遠い」「運行回数が少ない」「電車との接続が悪い」など利便性が悪く、買い物、通院などには多くの方が自家用車を利用しています。</p> <p>今回、バスなど地域交通の利便性について、500人超の城南地区住民にアンケート調査を実施しました。その結果、多くの高齢者は車の運転が不可能になった時点で買い物、通院などの交通手段が得られにくくことを危惧しているため、利便性の良い安心、安全な住みやすい城南地域づくりに向け、意見書を提出します。</p>
2 意 見 内 容	<p>記</p> <p>意見1 小型バスによる運行について 意見2 バスを残すための利便性向上施策について 意見3 しなの鉄道、別所線との接続について 意見4 デマンド型乗合タクシーの導入について 意見5 交通渋滞の緩和について</p> <p>具体的な内容につきましては、別紙「地域交通の利便性について」のとおりです。</p>

地域交通の利便性について

平成 28 年 1 月 14 日

上田城南地域協議会

第 1 部会

1 テーマ選定に至る経緯(背景)

城南地区においては、別所線があるほか、路線バス（県道川西線、青木線、室賀線）が運行されており、また、週2回オレンジバスが浦里・室賀コース（水・土）、西塩田コース（月・木）、東塩田コース（火・金）で運行され、一見、交通の利便性がかなっているかのように見受けられますが、「停留所が1km以上離れており遠い」「バスの運行回数が少ない」「電車との連絡が悪い」「時刻通りにバスが来ない」など利便性が悪いため、多くの地域住民は通勤、通学、買い物、通院などには自家用車の利用、家族・知人による送迎に頼っているのが実態です。

しかしながら、これからますます高齢化が進み、また、加齢に伴う身体機能の低下により自動車等の運転に影響を及ぼす可能性があるため、やむなく自家用車を手放した時には、現状の地域交通状態からは買い物、通院などの交通手段が得られにくいくことを大変危惧しています。

また、城南地区における買い物困難者に対する施策として、大型商業店舗やJAによる移動販売が一部の地域で開始されていますが、多くの地域では行われておりません。

そのため、地域まちづくり方針の「安心・安全な住み良い城南地域づくり」に向け城南地区住民を対象にアンケートを実施し、地域交通の利便性の向上を目指して取り組んできました。

2 現状把握（アンケート調査）

（1） 調査概要

① 調査対象

- ・第1回：城南公民館利用者110団体の代表者にアンケートを実施
- ・第2回：城南地域でバス路線があるが、交通機関の利便性が良くないと考えられる次の地区を対象に調査を行った。

（調査地区）御所、千曲町、上田原、東築地、築地、福田、吉田

※ 第1回と第2回の回答者の重複は無い。

② 調査期間

- ・第1回 平成26年11月1日～12月20日
- ・第2回 平成27年 6月1日～ 7月20日

③ 調査内容

問1 自治会

問2 性別

問3 年齢

問4 職業

問5 バスを利用されていますか？

問6 利用されているバス路線は？

問7 バス停が近くにあれば利用しますか？ → 「はい」「いいえ」
*「いいえ」の理由は？

問8 バスの利用目的は？

問9 バスを利用したい時間帯は？

問10 バスを利用される理由は？

問11 自由回答

どのようにしたらバスを利用するようになるか？
また、バスを利用しない理由は？

④ 回収結果

- ・第1回 配布数120通に対し、103通回収（回収率：85.8%）
- ・第2回 配布数400通に対し、324通回収（回収率：81.0%）

(2) アンケート結果

別紙「アンケート調査結果」を参照

*問1 「自治会」須川自治会員からの回答はありませんでした。

*問2 「性別」

回答者の男女比率は、女性が若干高いが、ほぼ拮抗しています。

*問3 「年齢」

70歳代が回答者の約25%、次に60歳代が20%を占め、次いで40歳代、50歳代、80歳代以上となっています。

*問4 「職業」

1位に無職、次いで会社員、専業主婦と準じ、問3の回答者の年代層に関連しています。

*問5 「バスを利用されていますか？」

90%近く回答者が「利用していない」との回答です。

これは、別の「問7」でも回答されているように、多くの人が交通手段として「自家用車を利用している」との理由です。

*問6 「利用されているバス路線は？」

多い順から「青木線」「室賀線」「県道川西線」となっています。

*問7 「バス停が近くにあれば利用しますか？」

70%近くが「利用しない」との回答であり、その理由は「自家用車を利用」が60%強です。

次いで「バスの運行本数が少ない」等の「利便性」に関する理由が多くあります。

(別紙「アンケート調査結果」を参照)

*問8 「バスの利用目的は？」

1位が「飲み会」、続いて「買い物」、「通院」です。

*問9 「バスを利用したい時間帯は？」

1位が10時～11時台であり買い物や通院への時間と思われます。

続いて、21時～22時台であり、これは飲み会帰りの利用と思われます。

*問10 「バスを利用される理由は？」

バスを利用する理由のうち車、免許証の有無など限定回答で問うた結果、「駐車場の心配が無い」が30%強を占めており、「車、免許証が無い」も同じく30%を占めています。

なお、バスで「目的地まで行く事ができる」との利便性についてはゼロ回答です。

*問11 「自由回答」どのようにしたらバスを利用するようになるか？

また、バスを利用しない理由は？については「3 課題」にまとめました。

(3) 城南地区の交通網（現状）：別紙添付

地域交通のバス路線、オレンジバス路線までの距離が直線で300m以上離れている地域を示しています。（＊別図の黄色囲い部分）

なお、これらの路線の停留所までの距離は道路状況を考慮すると、実態は少なくとも500m以上離れていることが伺えます。

3 課題

アンケート調査結果から浮き彫りになった問題点、要望点、利用促進について

(1) 問題点

- ・バス停の問題（遠い、汚い、目立たない、時刻表が無い）
- ・バスの運行本数が少ない。
- ・電車・別所線との接続が悪い。

(2) 要望点

- ・小型バスで地域の細部まで入った運行をしてほしい。
- ・一律低料金・共通券などにより利用しやすくしてほしい。
- ・遅い時間帯まで運行してほしい。（休日も含む。）
- ・日常の買い物や通院を中心に運行をしてほしい。
- ・デマンド型乗合タクシーなど希望した時に利用できる交通機関の導入
- ・バスのルートの表示を分りやすくしてほしい。（オレンジバスなど）

(3) バスの利用促進について

- ・バス優待制度、乗車お試し無料券などを発行してバスを利用してもらう。
- ・マイカー禁止デーの設定（大手企業への要請）
- ・地域や自治会にバス利用を促す。
- ・自家用車の運転が出来ない時点でバス利用したい。

現在は、大多数の人が自家用車で買い物、通院などしていますが、今後、高齢になり車の運転ができなくなることを考えると、バス停までの距離が遠いうえ、バスの運行本数も少ないと、利便性の悪さが懸念されます。これらの解消に向けた地域交通の利便性の向上が強く求められています。

4 意見

意見 1 小型バスによる運行について

国道、県道など幹線道路にはバスの運行がありますが、幹線から外れた地域では殆どの道路が狭くなり、バスが通れる状態ではないため路線から外れてしまいます。高齢になり足腰が弱まった状態で500mないしは1kmと離れたバス停まで出向くことは、非常に困難です。

特に、住宅が密集しているにも関わらず千曲町団地、朝日ヶ丘団地、東築地団地などは幹線道路から離れた地域に立地しているため、バスが運行されていません。

このため、小型バスは地域の細部までの運行が可能となるので、地域の足としてオレンジバスを含め、小型バスの運行を検討をお願いします。

意見 2 バスを残すための利便性向上施策について

バスは地域の足として高齢化が進めばますます需要度が増してくる交通機関であり、利用促進に向けた施策を取り組んでいただきたい。

具体的には、利用者の利便性向上の観点から一律料金設定、各社共通券（プリペードカード）使用など、運用システムの改善を地域の自治会や企業も巻き込んで進めていただきたい。

意見 3 しなの鉄道、別所線との接続について

しなの鉄道、別所線と接続ができない時刻帯もあるので、接続が良くなるようバスの時刻表を見直していただきたい。また、別所線：上田原駅周辺の土地を活用してパークアンドライド（park and ride）のシステムの検討をお願いします。併せて上田原駅を発着とした小型バスによる川辺・泉田地区を基軸においた循環運行を考えていただきたい。

意見 4 デマンド型乗合タクシーの導入について

自宅や指定の場所から目的地（戸口から戸口）まで、希望時間帯、乗車場所などの要望（デマンド）による安価な料金で活用できる交通機関は理想の形態であり、東信地区でも小諸、千曲市、など多くの地域でデマンド型乗合タクシー、バス等の導入が図られてきています。上田市でも城南地区をはじめ、地域で活用できるデマンド型乗合タクシーの導入を検討していただきたい。

意見 5 交通渋滞の緩和について

国道、県道の道幅が狭い状況からバスが乗降で停車すると渋滞てしまいます。そのため、バス停の設置も多くは望めないのが現状です。

特に国道 143 号線の道路拡幅の延伸、及び南部消防署前の信号による交通渋滞緩和については城下地区自治会連合会、川辺・泉田地区自治会連合会などからも要望があります。計画中の国道 143 号線の道路拡幅について早期に実施していただきたい。

また、神畠方面から吉田方面に向かう南部消防署前の変則 5 差路については常に渋滞しています。右折信号、右折レーンを設けるなど渋滞の緩和を図っていただきたい。

5 まとめ

これまで、城南地域協議会では、地域交通の利便性向上に向けて検討をしてまいりました。少子高齢化、市の健全財政の維持等に鑑み、将来を見据えたコンパクトシティーの実現に向けて、中心市街地のみならず周辺地域も含めた公共交通システムの構築について、市民が知恵と勇気をもって真剣に取り組むことが肝要です。



↑ バスの停車スペースが設けられていないバス停

停車中のバスの後方が渋滞している。

(上田方面行 上田原駅前)



↑ バスの停車スペースが設けられているバス停

(上田方面行 阪美精密前)



↑ 待合スペースが狭いバス停（青木方面行 阪美精密前）



↑ 別所線 上田原駅

上田原駅周辺にパークアンドライド（park and ride）システムを検討。併せて上田原駅を発着とした小型バスによる川辺・泉田地区を基軸において循環運行を検討。

アンケート調査結果

問1 対象者の自治会

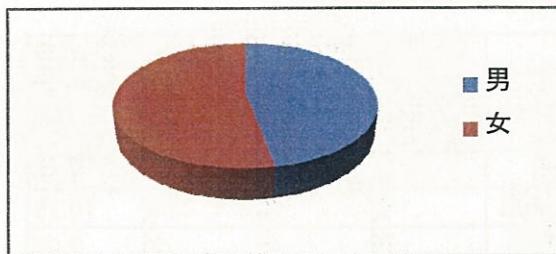
資料2

第1回	朝日ヶ丘	小牧	御所	諏訪形	千曲町	中村	須川	中之条	三好町	他	合計
	3	8	4	4	7	5	0	8	4	3	46
	上田原	神畠	川辺町	倉升	築地	東築地	下之条	半過	福田	吉田	
	4	9	12	4	6	2	8	4	3	5	57
											103

第2回	御所	千曲町	上田原	築地	東築地	福田	吉田	合計
	50	84	41	48	27	29	45	324

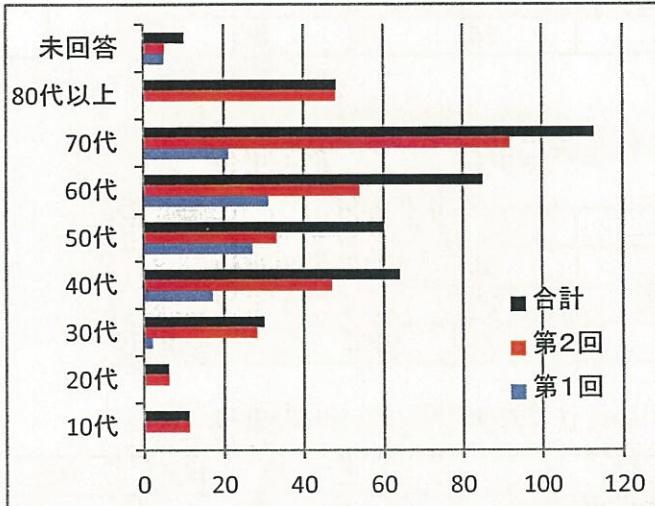
問2 性別

	第1回	第2回	小計	構成比率
男	69	132	201	47.1%
女	34	192	226	52.9%
合計	103	324	427	100%



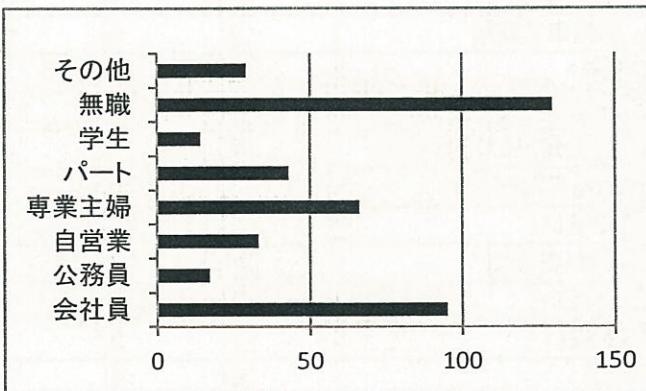
問3 年齢

	第1回	第2回	合計	構成比率
10代	0	11	11	2.6%
20代	0	6	6	1.4%
30代	2	28	30	7.0%
40代	17	47	64	15.0%
50代	27	33	60	14.1%
60代	31	54	85	19.9%
70代	21	92	113	26.5%
80代以上	0	48	48	11.2%
未回答	5	5	10	2.3%
	103	324	427	100%



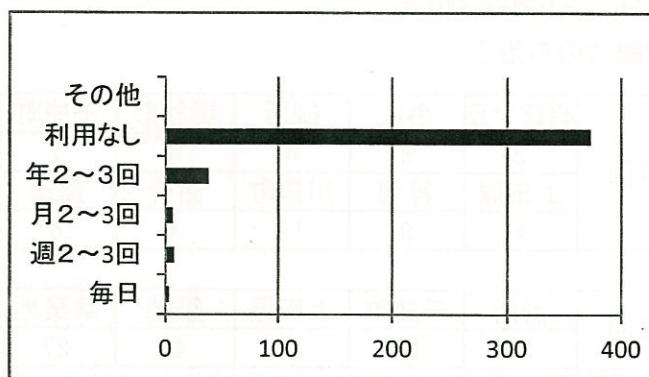
問4 職業

	第1回	第2回	合計	構成比率
会社員	38	57	95	22.2%
公務員	4	13	17	4.0%
自営業	8	25	33	7.7%
専業主婦	11	55	66	15.5%
パート	10	33	43	10.1%
学生	0	14	14	3.3%
無職	28	102	130	30.4%
その他	4	25	29	6.8%
	103	324	427	100%



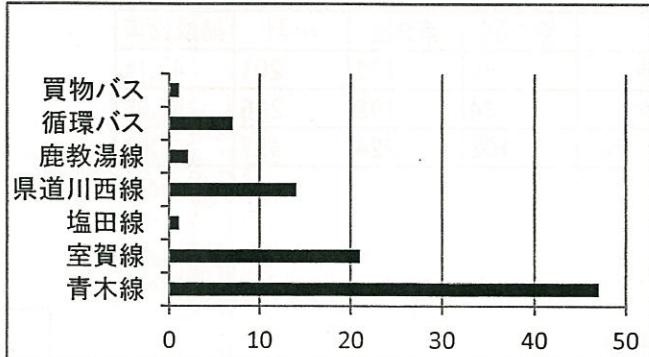
問5 バスを利用していますか？

	第1回	第2回	合計	構成比率
毎日	1	2	3	0.7%
週2～3回	0	7	7	1.6%
月2～3回	0	6	6	1.4%
年2～3回	11	27	38	8.9%
利用なし	91	282	373	87.4%
その他	0	0	0	
	103	324	427	100%



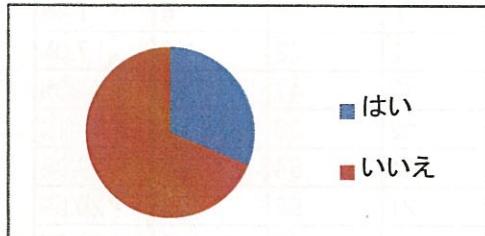
問6 利用されるバス路線

	第1回	第2回	合計	構成比率
青木線	8	39	47	50.5%
室賀線	1	20	21	22.6%
塩田線	0	1	1	1.1%
県道川西線	5	9	14	15.1%
鹿教湯線	0	2	2	2.2%
循環バス	0	7	7	7.5%
買物バス	0	1	1	1.1%
	14	79	93	100%



問7 バス停が近くにあれば利用しますか？

	第1回	第2回	合計	構成比率
はい	33	80	113	31%
いいえ	56	193	249	69%
	89	273	362	100%

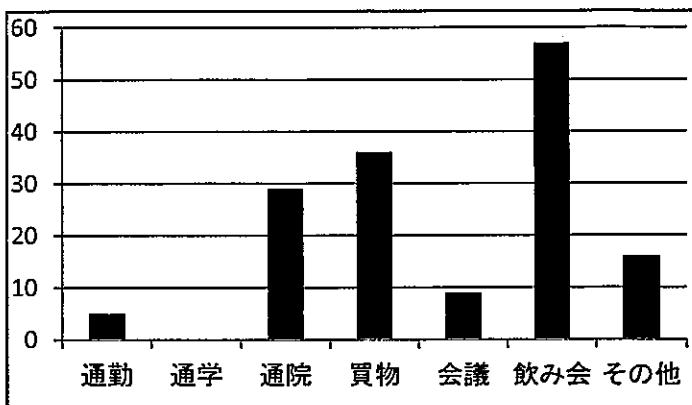


※ 「いいえ」(バスを利用しない)の理由について

	1回目	2回目	合計	構成比率
自家用車を利用	28	150	178	63.3%
バスの運行本数が少ない	4	20	24	8.5%
別所線を利用	5	10	15	5.3%
時間が合わない	4	10	14	5.0%
徒歩、自転車を利用	2	8	10	3.6%
路線が無い	2	4	6	2.1%
目的地近くにバス停が無い	1	5	6	2.1%
買物等荷物が多い時に不便	2	4	6	2.1%
バスに乗る目的が無い	1	5	6	2.1%
利便性が低い	2	2	4	1.4%
運行時間が判らない	0	3	3	1.1%
勤務地が遠い	1	1	2	0.7%
バス停が遠い	1	3	4	1.4%
料金が高い	0	2	2	0.7%
子供が小さいから	0	1	1	0.4%
合 計	53	228	281	100%

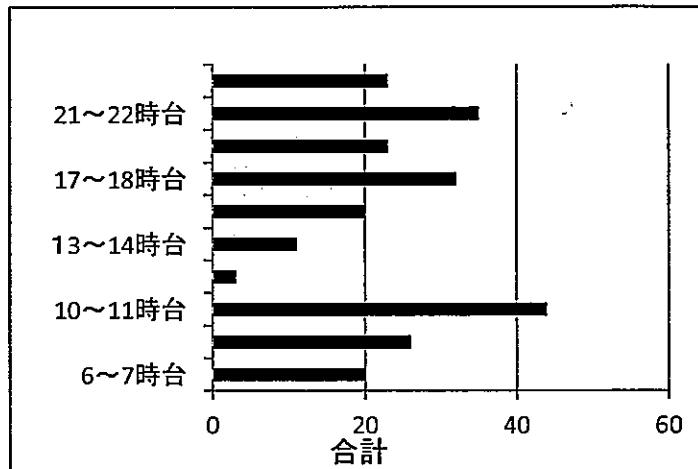
問8 バスの利用目的

	第1回	第2回	合計	構成比率
通勤	1	4	5	3.3%
通学	0	0	0	0.0%
通院	3	26	29	19.1%
買物	9	27	36	23.7%
会議	3	6	9	5.9%
飲み会	20	37	57	37.5%
その他	7	9	16	10.5%
	43	109	152	100%



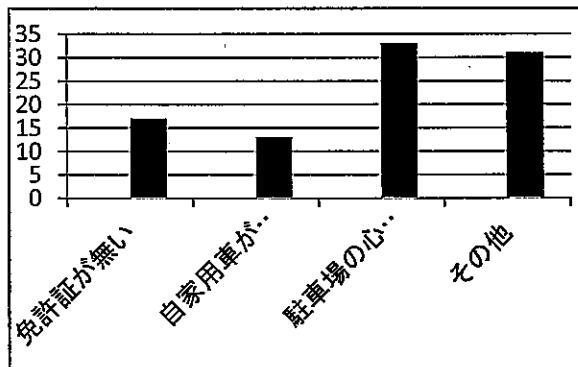
問9 バスを利用する時間帯

	第1回	第2回	合計	構成比率
6~7時台	5	15	20	8.4%
8~9時台	5	21	26	11.0%
10~11時台	9	35	44	18.6%
12時台	0	3	3	1.3%
13~14時台	2	9	11	4.6%
15~16時台	3	17	20	8.4%
17~18時台	12	20	32	13.5%
19~20時台	6	17	23	9.7%
21~22時台	11	24	35	14.8%
23時台	6	17	23	9.7%
	59	178	237	100%



問10 バスを利用する理由

	第1回	第2回	合計	構成比率
免許証が無い	0	17	17	18.1%
自家用車が無い	0	13	13	13.8%
駐車場の心配が無い	13	20	33	35.1%
その他	16	15	31	33.0%
	29	65	94	100%



問 11(自由回答) どのようにしたらバスを利用するようになりますか？

- ◎ 近未来で利用したいバスなど交通機関の形態は？
- 小さめのバスで幹線以外の地域や集落の中まで運行
 - タクシーのように自宅近辺から乗降
 - 希望時刻に戸口から乗降
 - 自宅まで来もらい利用したい時に利用できるというような交通機関

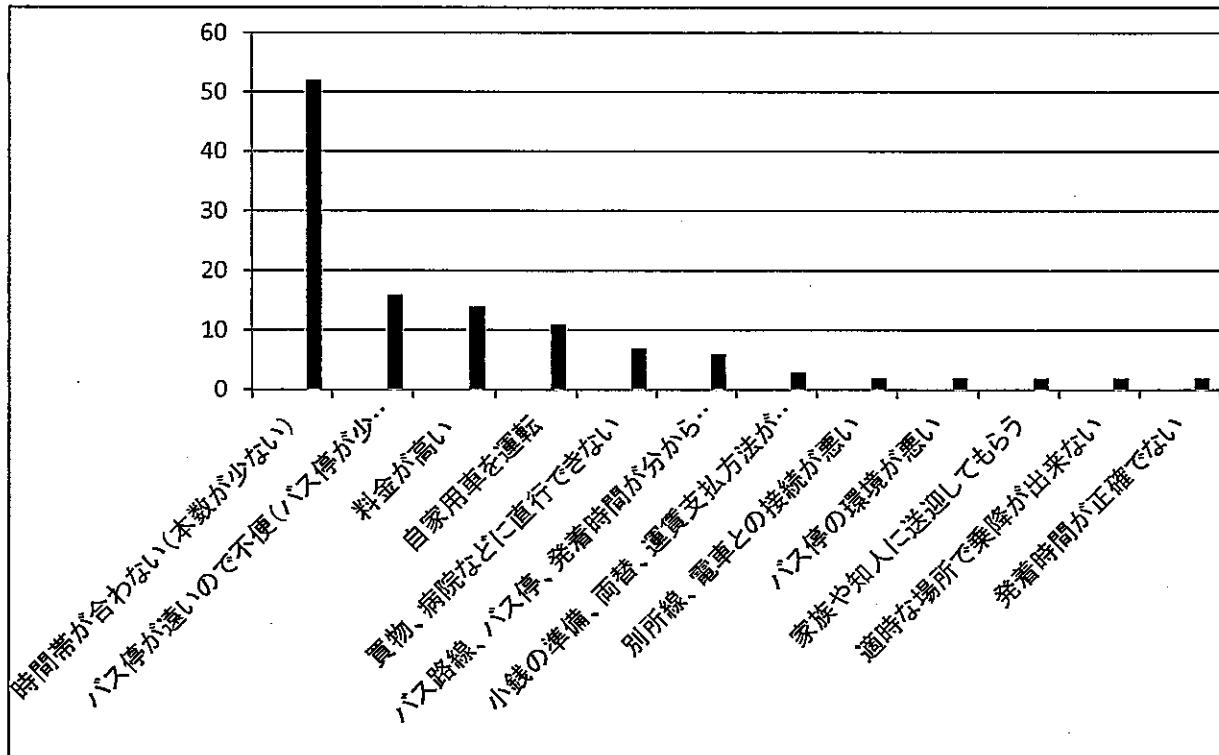
⇒デマンド型乗合タクシーを希望

◎ バス交通を残す方策として次の施策を

- ・週、または月に回数を決め、地域や自治会に利用を促す。
- ・イベントを開催して利用を促す。
- ・自治会、住民の負担増で支援すべき路線を吟味、維持
- ・乗車お試し無料券を発行してバスを利用
- ・バスのメリットを宣伝
- ・バス優待制度
- ・自治会、企業などでバス活用Dayなどの設置

◎ 自由回答の中で「バスを利用しにくい理由」として次の項目があげられた。

回答項目	回答者数	構成比(%)
時間帯が合わない(本数が少ない)	52	44
バス停が遠いので不便(バス停が少ない)	16	13
料金が高い	14	12
自家用車を運転	11	9
買物、病院などに直行できない	7	6
バス路線、バス停、発着時間が分からぬ	6	5
小銭の準備、両替、運賃支払方法が面倒	3	3
別所線、電車との接続が悪い	2	2
バス停の環境が悪い	2	2
家族や知人に送迎してもらう	2	2
適時な場所で乗降が出来ない	2	2
発着時間が正確でない	2	2
総計	119	100



参 考 資 料

デマンド型乗合タクシーとは

自宅や指定の場所から目的地まで（戸口から戸口まで）お客様の要望（デマンド）する時間、乗車場所などに応える公共交通サービス。

乗合のため、同じ便に予約が複数入った場合は道順に沿って回り、それぞれの目的地まで運行する。

(1) 小諸市の事例

① 業務概要

【事業主体】小諸市コミュニティ交通協議会

【種 別】デマンド型運行

【運行形態】自由経路型ドアツードア型

【試験運行】平成27年10月から平成28年3月まで

【本格運行】平成28年4月1日から開始

【運 行 日】毎週月曜日から土曜日まで

【運 休 日】日曜日、祝祭日、年末年始（12月29日から1月3日）

【使用車両】10人乗り 車両6台（降車ブザー・ステップ・握り棒あり）

【運 費】1回 300円（乗り継ぎは無料） 回数券を発行

② 運行経路など

【区 域】市街地を共通地区とした5地区

【所要時間】1回（片道）おおむね30分

【経 路】自宅→ 乗降場所→ 自宅

【乗降場所】市役所、JA支所、市内スーパー全て、市内小中学校全て（8校）
病院・医院（24か所）、三岡駅、美里駅、あぐりの湯 など

【運行時間】9・10・11・13・14・15・16時台

【予 約】① 予約方法：電話（登録無料の会員登録制度あり）

② 予約期限：午前便は前日17時まで

午後便は当日11時まで

※ この他に朝夕、通勤等の利用者を対象とした「小諸すみれ号」の運行あり（別紙）

(2) 県下の導入状況について（別紙）

- ・安曇野市
- ・千曲市
- ・駒ヶ根市
- ・辰野町

(別紙)

1 小諸すみれ号（小諸市コミュニティバス）とは

廃止代替バスや従来の市内循環バスの運行コース、運行時間を見直し、車両の小型化を図り、朝夕の通勤時間帯に運行している。

業務概要

【事業主体】小諸市コミュニティ交通協議会

【運行主体】バス事業者（委託）

【運行区域】市内（御代田町及び佐久市の一部を含む。）

【運行形態】11路線（千曲バス 9路線、JRバス 2路線）

停留所以外では乗降できない。

【運行日】毎週月曜日から金曜日まで

【運休日】土曜日、日曜日、祝祭日、年末年始（12月29日から1月3日）

【使用車両】15人乗り、29人乗り 車両7台（全て10人乗りに変更検討中）

【運賃】市内一律 200円（御代田町乗降は 300円）

【運行時間】概ね（行き）7時から9時台

（帰り）15時から18時台

【運行便数】行き便、帰り便ともに1便～3便（路線により異なる。）

2 県下 デマンド型乗合タクシーの状況

（1）安曇野市

【運行時間】8時から17時まで1時間間隔（状況によって30分間隔）

【運賃】1回 300円

※ 朝夕の通勤時間帯は、定時に定路線で運行している定時定路線型バスもあり

（運行時間）平日 6時40分から8時頃、17時20分から20時頃

（運行区間）豊科駅から田沢駅まで、穂高駅から明科駅まで

（2）千曲市

【運行時間】8時30分から1日 9便（4人乗り、10人乗り）

【運賃】1回 大人 400円、小中学生 200円

（3）駒ヶ根市

【運行時間】（行き便）8時、10時 （帰り便）正午、14時

【運賃】1回 400円 平日の2～3日（利用登録）市内及び5地区

（4）辰野町

【運賃】1回 300円（4人乗り、9人乗り）

